

2024.8

特別号

## 配布に関するお問い合わせ

「今日の生活情報便」事務局

営業時間 月～金曜日 9:00～18:00

土曜日 9:00～17:00 (日・祝・当社休業日除く)

0120-900-828

おっ、いっじゃん！がココにある。

## 「今日の生活情報便」

## あなたと共に

## “生きる”をつくる

介護や保育、福祉や医療などの現場で働く若い働き手を取材し、県内すべての高校に配布を行うフリーマガジン「Kaigoto (カイゴト)」の発行や、障がい者アートのレンタル事業「anko art project (アンコアートプロジェクト)」など、第三者目線で“福祉”をカジュアルに発信する「anlib (アンリヴ) 株式会社」。同社が今夏、障がい者の社会参画の新たな選択肢となるべく、「就労継続支援B型事業所anko (あんこ)」を開所しました。代表取締役社長を務める堀内麻実さんに、立ち上げの経緯と想いを伺いました。

## 暮らしを見据えた先の就労支援

2024年7月1日に開所した「就労継続支援B型事業所anko」は、絵画や手芸、造形など、ものづくりを得意とする、もしくはものづくりや音楽、デザインやファッションなどが好きな人たちと共に、自ら仕事を生み出すことを主体とした事業所です。長年、デザインや企画・編集、出版に携わってきたanlib株式会社の強みであるデザイン力や企画力を活かしながら、障がい者の社会参画を目指します。「ankoが大切にしているのは、“生きる”を考えることです。今まで手がけてきた障がい者アートレンタルや展示販売、オリジナル商品開発などはあくまでもツールの一つで、私たちが重きを置いていたのは、その先にある暮らしでした。今ある暮らしや働くことに障がいがあったとしても、アートやデザインの手で互いが知り合えば、きっと社会で活躍できる時がくる。そう信じて構想を温めてきた事業の一つが、就労継続支援施設の開設でした」。



## ともに生きるということ

anlibの子どもとして、堀内さんが初めて福祉の発信をスタートさせたフリーマガジンの名前である「anko」。「控えめでやさしい甘さ。流行にとらわれず、ずっとずっとみんなに愛される存在でありたい」。そんな想いと原点に立ち戻って、事業所名も“あんこ”と名付けたのだそう。

「県内では珍しい取り組みになるかもしれない」と話す同事業所の活動は、創作活動を主に行う「アート部門」。アートが得意でなくても好きな人、もっと地域に参加したい人など、それぞれの個性や感性を育みながらさまざまな仕事に挑戦する「みらい創造部門」の2つに分かれています。「障がいの有無に関係なく、得手不得手は誰にでもありますし、興味を持つ分野も違って当然です。活動内容は分かれています、同じ目標に向かって活動できることが大前提だと考え、よりよい落とし所を日々模索しながら、みんなと一緒に活躍できる場をみつけていきたいと思っています」。

ともに考え、笑い、生きる。その一步一步が、未来への確かな道しるべとなるのではないのでしょうか。新たな未来を描き続けるankoの挑戦はまだまだ始まったばかりです。

anko

就労継続支援B型事業所

## 就労継続支援B型事業所anko

〒400-0047 山梨県甲府市徳行2-4-5

055-215-6048 info@anlib.co.jp

時間/月～金 10:00～15:00

休日/土日祝日・年末年始・夏季 定員/20名

●送迎あり(応相談) ●日中一時支援も対応可能。

随時、  
体験受付中！

月に一度open「annoan-暮らしのお店」

毎月第4土曜日  
10:00-15:00  
同事業所にて

ankoが提案する月に一度のセレクトショップ「annoan-暮らしのお店」。日頃見ることのできない事業所の雰囲気やスタッフがセレクトした未来に残したい商品を実際に手にとって購入できる日で、どなたでも気軽に立ち寄ることができます。不定期でワークショップ等も開催予定。